

## 地震活動特性からみた 2026 年熊本地震

九州大学大学院理学研究院地震火山観測研究センター

松本 聡

ポイント：

- 2026 年熊本地震は 2016 年熊本地震破壊域の南西部，日奈久断層において発生した。  
➢ 2016 年地震後に地震活動が活発になった領域で起こった。
- 2016 年地震によって，より地震を起こす力が増加した領域に対応する。
- 震源断層は北西傾斜を持ち，南西部では傾斜が緩くなっていた。
- 2026 年熊本地震は日奈久断層南部では余震活動が活発であり，一つの可能性としては断層に力がかかり続けていると考えられる位置で発生した。  
➢ 同様に，さらに南西部でも断層により力がかかる状態である。  
➢ いつ・どのくらいの地震が起こるかは予測できないが，注意が必要。
- 熊本地域は比較的良好に調査されてきた。結果を見てわかる通り，稠密な観測，調査が大変重要で，これからも観測・調査を継続して変化の検出に取り組む必要がある。

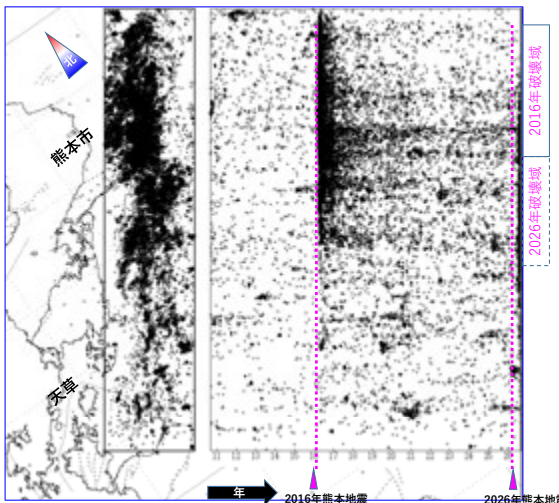


図 1. 2016 年，2026 年熊本地震震源域での地震の時空間分布図. 左図の黒枠内の震源を横軸に年を取りプロットしている. 2 地震の発生時期を波線で示す. 2016 年の地震発生後に活動が活発になった地域において 2026 年地震が発生していることがわかる (2026 年地震の破壊域は暫定)。

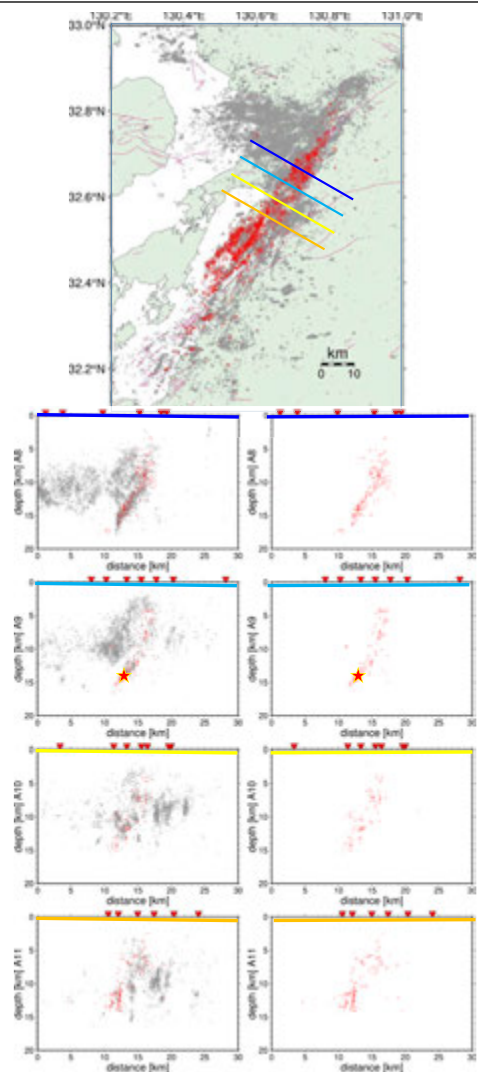


図 2. 暫定震源断面図. 上図の色線に沿った断面を示す. 断面の左は期間内すべての震源. 期間は 2016 年 4 月 16 日～2026 年 8 月 20 日. 右は 2026 年熊本地震発生以降 (震源を赤で示す)。

九州大学 松本聡 資料